

Angels 通信

稲野エンジェルス季刊報

平成 25 年 9 月発行 第 9 号

『心ひとつ』で大勝利を！

理事長 藤原 進

大昔（おおむかし）の中国のお話

殷（いん）の紂王（ちゆうおう）は、70万騎（き）であったが、
 同体異心（どうたいいしん）であったので戦いに負けてしまった。
 周（しゅう）の武王（ぶおう）は、わずか800人であったけれど、
 異体同心（いたいどうしん）であったので戦いに勝った。

異体とは、人それぞれに個性や立場が異（こと）なることであり、
 同心とは目的感（もくてきかん）や価値観（かちかん）が同じことです。

異体同心とは、多彩（たさい）な人材が、互いの個性を認（みと）め合いながら、
 自他共（じたとも）に幸福の実現（じつげん）、そして平和・安穩（あんのん）な社会を
 建設（けんせつ）するために、仲良く誘発（ゆうはつ）し合（あ）って前進（ぜんしん）していくことです。

すなわち物事の勝負を決することは、数の多少だけではありません。大切なのは物事に
 向かって皆が心を一つにできるかどうかです。我がチームにおいても、監督・コーチ・

父兄の皆さんが心を一つにして、前進していくならば、必ず大勝利を得ることでしょう。

皆さんの協力で、後半戦を頑張（がんば）りましょう！



2013年度（第36期）稲野エンジェルス

球団・チームの指導(しどう)者の皆さんに、36 期後半の目標や



勝利の旗（はた）のもとに

総監督 中堂 慶

2013年も夏を乗り越（こ）え、後半戦に差しかかってきました。

Aクラスは県大会出場、そして準優勝と輝（かがや）かしい成績を収めてきています。

それと同時に、父母の団結も毎試合ごとに強まり、少年野球の醍醐味（だいごみ）を味わっていただけているかと感じています。6年生選手にとってはすべてが最後の試合、後悔（こうかい）をしないよう、全力・がむしゃら野球であってほしいと思っています。

大昔、私も少年野球小僧（こぞう）でした。その中で一番印象に残っているのは“チームワーク”。「あいつが出たなら俺がバントで送ってやる」、「おれが最後まで守ってやる」と子供心に強く思ったことを思い出します。今でも野球が好きなのはそのせいかもしれませんね。思いやりの精神、信頼し助け合う友情と絆（きずな）、チームワークがどれほど素晴らしいかを野球を通して学んでください。

Bクラスにとっては、大事な時期に入りました。夏を過ぎ体力と姿勢（しせい）が徐々に見え始めています。監督・コーチが一丸となって選手育成とチームカラーを作りあげてください。

1本のホームランよりも、つなぐバッティングがいかに大事であるか「スモールベースボールから始まる野球」の準備を怠（おこた）りなく、年末の勝負に取り掛かりましょう。

Cクラス、市内第3回大会の優勝おめでとう！これまでの経験が、これからの経験に切り替わろうとしています。できなかったことができるようになり、野球に少し厚みが出てきます。それと同時に新しい試みも必要になってくるでしょう。野球を楽しむ心を大切にして、これからも選手の育成とチームの強化に励んでください。

総監督としてこれからも勝利に向かって、各クラスの道標（みちしるべ）にあたります。勝利に向かって何が必要か、足りないものは何か、どうすればよいかを、選手育成も大切に考えながら、ともに前進していきましょう！

さあ後半戦、秋・冬に向かって、がむしゃら野球は続きます。

役員、選手、父兄、球団が一丸となって戦っていきましょう！

勝利の旗を目指して！！

秋からの戦いに向けて！

戦い方 また意気込(いきご)みを教えていただきました



Aチーム
高橋監督

6年生も残すところあと半年となりました。

5年の第5回大会、学童予選、第1回大会は徐々(じょじょ)に力をつけてきたものの、ここぞの競(せ)り合いにふんばりきれず負けていました。しかし第2大会では、今まで培(つちか)ってきた成果を十二分に発揮(はっき)して優勝することができました。そして、自信をつけて臨(のぞ)んだ第14回兵庫県スポーツ少年団夏季選抜(かきせんぱつ)大会は、ピンチをチームワークで乗(の)り切り、最後まであきらめることなく戦った結果、準優勝することができました。選手、ベンチ、保護者が一丸となったすばらしい大会でした。

暑い・熱い夏、そして多くの大会があった大変忙しい夏を乗り越えて、選手たちは肉体的にも精神的にも大きく成長したと思います。

後半は、1人1人がもっと野球を知り、状況に応じた『考える野球』を実践(じっせん)し、もう一段レベルアップできることを目指します。

これからも、皆様のご指導(しどう)・応援をよろしく願いいたします。



Bチーム
島川監督

私たち37期も結成(けっせい)から約1年が経(た)とうとしています。この1年間選手たちは、色々な経験ができたと思います。市内大会での準優勝、県内の5年生チームで競(きそ)う豊岡市若獅子(わかじし)杯大会への出場。最終学年に向けて、これからも準備を整えていかななくてはなりません。2月に行われる全学童予選に最高の結果が残せるように、残りの月日をチーム一丸となって、悔(い)のないように過ごしたいと思います。皆様の協力をよろしく願いいたします。



Cチーム
坂尻監督

例年(れいねん)以上の厳(きび)しい暑さだった夏を乗り越え、選手たちは技術(ぎじゅつ)だけでなく、精神面(せいじんめん)もたくましく成長したように感じます。8月には新メンバー2名が加わり、ますます活気(かっき)が出て、はなやかに became. そして9月市内第3回大会でのチーム初優勝！

これから練習はもっともっと難(むづか)しく、厳しい野球も覚(おぼ)えていかないとはいませんが、『がむしゃら』な気持ちを忘れずに、日々前進していきたいと思います



特集！夏季合宿に行ってきました

今年の合宿は7月27・28日に兵庫県たつの市で行われました。今回の合宿テーマは、「勇気！元気がむしゃら野球！」、基本練習・応用練習・練習試合（Aのみ）・座（ざ）学など、まさに野球一色の2日間、とても中身の濃（こ）いものになりました。

全選手で行った初日のランダンプレーや夕食後の眠たい中でのルール教室 2日目はA50本、B40本、C30本の個人ノック、期間を通じて行う全体行動など、日ごろできない練習や経験（けいけん）をみんなで共有することができ「練習しんどかったけど、がんばった！楽しかった！」有意義（ゆういぎ）2日間になりました。

【7/27 1日目】

市役所を出発 … たつの市揖保（いぼ）川河川敷グラウンド着 … アップ・全体練習
… 昼食 … 練習（Aは練習試合）… 宿舎到着 … 入浴・夕食 … 座学

【7/28 2日目】

起床・ラジオ体操・朝食・出発 … 練習 … 昼食 … 練習 … 打ち上げ … 伊丹帰着



《皆さん！合宿お疲れさまでした》

今年も、保護者、役員の皆さまのご理解あるご支援（しえん）によりまして、総勢79名での夏季合宿が大成功で無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

現在のチーム運営（うんえい）は皆さまのご協力なくしては、各行事が円滑（えんかつ）に成り立ちません。今回の合宿を通じて、多数の方にご参加・ご協力していただけると、選手たちにいい環境・機会（かんきょう・きかい）が作れることを再認識（さいにんしき）しました。今後とも皆さまのお力をお借りしながら子供たちの大きな思い出となるように、工夫を凝（こ）らした催（もよう）しを考案（こうあん）していければと、思います。

私も負けないように頑張（がんば）ります。野球もたくさん応援させていただきます。

総務理事 吉田 満

詳細！おめでとう準優勝！

スポーツ少年団 県大会！

Aチームが8月18日・31日に行われた第14回兵庫県スポーツ少年団夏季選抜軟式野球大会（淡路佐野運動公園）に参加し、決勝戦の特別延長戦で敗れましたが見事に準優勝しました。



【 試 合 結 果 】

(8月18日)		1 回戦		2 回戦		— 順位 —	
	小坂	20000	2	夢前	0120001	4	1位 樋ノ口
	稲野	3650x	14	稲野	100220x	5	2位 稲野
(8月31日)		準決勝戦		決勝戦		3位 本山、西脇	
	本山	00000	0	樋ノ口	00300104	8	
	稲野	1043x	8	稲野	11100102	6	

選手は初めての大きな大会にもかかわらず、基本に忠実（ちゅうじつ）な野球を実践（じっせん）して見事に準優勝することができました。選手・役員・保護者が一体となった素晴らしい大会でした。

1 回戦 vs. 小坂ブラッキーズ（豊岡市）

・初回4連打で2点を先制されるも、その裏に逆転。後は連打で得点を重（かさ）ね5回コールド勝ち。
【13安打の猛攻（もうこう）が光った試合でした】

2 回戦 vs. 夢前（ゆめさき）ベアーズ（姫路市）

・合宿時に練習試合をした相手。先制するも逆転され、力海の本塁打で勝ち越（こ）し。最後は二死満塁を全員でしのいで、接戦（せっせん）を勝ち抜くことが出来ました。

【最後は崩（くず）れることなく守りきりました。今大会一番の試合でした。】

準決勝戦 vs. 本山フレンズ（神戸市）

・初回四球のランナーを三塁まで進め先制。その後、着実に追加点を重ね、コールド勝ち。

【投手を中心にしっかりと守り、攻撃ではバント、好走塁、タイムリーと、随所（ずいしょ）に堅実（けんじつ）なプレーが出た試合でした。】

決勝戦 vs. 樋ノ口（ひのくち）少年野球（西宮市）

・軟投投手から先制するも、内野安打等で追いつかれ、7回を終え同点。特別延長の末、負け。

【不運もありましたが、最後まで諦（あきら）めずに良いゲームでした。】

監督 高橋将文

2013年度 第36期トピックス

-速報- 9月 Cチーム 市内大会に初優勝!

4回連続(れんぞく)で市内大会決勝進出中のCチームが、9月22日ついに初優勝しました。1回に先制されながら3回に逆転、その裏ピンチを守り切ると4回からは打線爆発(ばくはつ)。11-2で完勝しました。おめでとう!Cチーム。



7月 Bチーム 第35回豊岡市若獅子杯大会に出場

「駆(か)け上げれ 夏のテッペン!」を合言葉に若獅子杯に参加しました。

兵庫県立但馬ドームでの開催(かいさい)とあって、選手・父兄・スタッフ全員がとても興奮(こうふん)した大会となりました!初のチーム単独遠征(たんどくえんせい)。何から準備(じゅんび)すればいいのかも分からず、手探(てさぐ)りのなかを、球団幹部や協力役員・ご父兄方の協力をいただきながら、なんとか無事に行うことができました。お礼申し上げます。戦績は残念ながら、2回戦で敗退となりましたが(対戦相手が優勝しました)ワンランク上の試合を経験したことで大きな自信を得ることができました。また遠征を通して、選手の絆もより強固となり、チーム力も同様に上がったと思われ、戦績以上に収穫の多い遠征となりました。

今後は、この貴重な経験を大いに活かして、第2・第3回大会での悔し涙を晴らすように、チーム全員・一丸となって頑張ります! Bチーム 北山 泰地



7月 市内第2回大会は全チームが表彰(ひょうしょう)されました

今年の第2回大会はABC全チームが決勝戦まで勝ち上がり、Aが優勝、BとCは準優勝とそれぞれに大活躍しました。Aチームは市内大会初優勝、Bチームはチーム初のメダル獲得、Cチームは3大会連続での準優勝とそれぞれの思いで臨む表彰式。全クラスでの表彰式参加は25期以来11年ぶりです。日ごろの練習での努力がむくわれるひととき、選手・役員・父兄のみんなが笑顔になりました。Aチームは今大会の優勝により、8月に淡路佐野運動公園で行われるスポーツ少年団県大会に招聘(しょうへい)されました。



5.6月 からたち杯争奪(そうだつ)大会 Cチームベスト4に進出(しんしゅつ)

Cクラス最大の市外大会。67チームによる2か月間のトーナメント戦が開幕(かいまく)。 (初戦)9-1で逆転勝ち。 (2回戦)最終回につきはなし6-0勝利。

(3回戦)5-2の逆転勝ち。 (準々決勝)本塁打も飛び出し5-1で勝利。

(準決勝)相手の先制攻撃を止めれず大量失点。追い上げ及(およ)ばず2-8で敗北。(3位決定戦)浜田野球戦、先制加点を許しきびしいムードも、集中打で逆転。相手も引かず、同点に追いつかれ最終回の攻防。最後は力尽(つき)き3-4でサヨナラ負け。今大会、Cチームの選手たちは一戦一戦たくましく成長しました。これからも野球を楽しみ、がむしゃら野球で再出発します! Cチーム 千葉 敏幸

